

2．公共トイレ音声案内システム

2.1 トイレ情報音声案内の範囲

図2.1に示すように、公共トイレを使用する際に必要な情報は個室外と個室に分けられる。個室外の情報としては、建物の中のどの位置にトイレがあるのかという位置情報、男女別や個室の配置がどのようなになっているかを示すレイアウト情報などがある。今回本調査研究会の実証実験で取り扱うのは便器の向きやトイレトーパーなど個室の情報とすることとした。この範囲に限定して行うことにした検討の経緯は後述する。本報告書において以降「公共トイレ音声案内」とは個室情報を示すこととする。

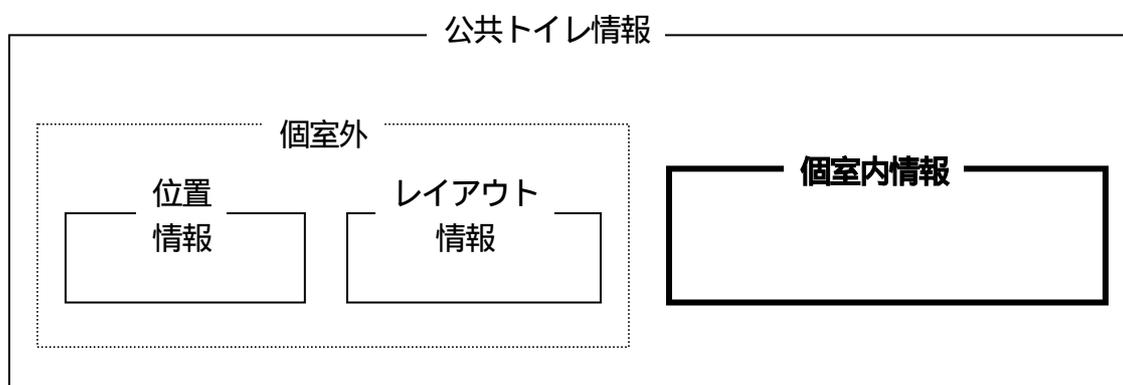


図2.1 公共トイレ個室情報音声案内の位置付け

2.2 公共トイレ音声案内システムに求められる機能

前章の視覚障がい者の現状を踏まえて、視覚障がい者に対して、外出時の公共トイレ利用をサポートするシステムに求められる条件を整理すると、次のとおりとなる。

- (1) 音声で案内すること
すべての視覚障がい者を対象にサポートをすることが重要であり、一部の視覚障がい者しか理解できない点字などではなく、音声による案内が望ましい。
- (2) 操作が簡単であること
端末の操作が簡単であるとともに、システムがトイレを自動認識し、必要な情報を届けるまでを利用者が意識することなく行える必要がある。
- (3) 汎用性の高い端末を利用すること
多くの視覚障がい者に利用してもらうためには、できるだけ専用端末ではなく、